

「くらしき防災フェア」に初出展 ～自然災害への備えや災害便乗商法への注意を呼び掛け～

日本損害保険協会中国・四国支部 岡山損保会（会長：澤田 悟恵・三井住友海上火災保険株式会社 理事 岡山支店長）では、岡山県損害保険代理業協会にも協力いただき、11月23日（日）にボートレース児島駐車場で開催された「くらしき防災フェア」に初めて出展いたしました。

本フェアは倉敷市主催で、「気軽に楽しく防災について考える」をコンセプトに、働く世代を中心とした幅広い世代の方が参加できる“体験型”的防災普及啓発イベントで、11月5日の津波防災の日にちなんで令和4年度より毎年11月に実施されています。当日は多くの団体が出展し、メインステージのほか、なるほど！体験エリア、わくわく！体験エリア、大集合！働く車エリアの各エリアで様々な防災に関する啓発が行われ、主催者発表で約12,000人が来場しました。

当協会の出展ブースでは、自然災害の備えに関する防災クイズを実施しました。当支部職員が説明しながら、家族や友人と一緒に楽しみながらクイズに挑戦していただきました。クイズのあとは当協会が作成しているチラシを用いて、自然災害に備える説明や災害便乗商法への注意喚起を行いました。また「減災絵巻」を展示して、自然災害に係る身の回りのリスクを説明するとともに、「そんぽデジタル・マイ・タイムライン」を紹介しました。

当支部では引き続き、行政、関係団体等と連携し、防災意識の向上につながる取組みを推進してまいります。



防災クイズに挑戦する来場者①



防災クイズに挑戦する来場者②



出展ブース



減災絵巻